

まんまんちゃん ニュース



株式会社高田
大聖寺永町56
☎ 72-1275
第54号

～みきおちゃんご挨拶～

季節は又回り、早くも秋が訪れる頃です。私自身も11月で54歳となります。四季でいうならば「秋真っ盛り」という頃なのでしょうね。幸いなことにたくさんの良き出会いに恵まれ、こうして日々を積み重ねていること、お陰様だなぁと感謝しています。深まる秋とともに、皆様の毎日にもたくさんの素敵な「実り」がありますように。

～タカダのスタッフ紹介～

縁あって、昨年入社しました中川大輔(なかがわだいすけ)さんをご紹介します。

Q. これまでの経歴を教えてください。

A. 大聖寺高校を卒業後、東京の映像制作会社で映画やミュージックビデオの制作に携わっていました。今でも映像作品を見ると、ストーリーだけでなく、編集や画面の細かな部分まで気になってしまいます。

Q. タカダに入社した印象は?

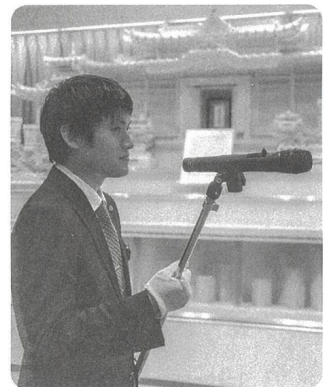
A. 葬儀社はず書きの仕事が多いイメージでしたが、実際にはパソコンやデジタル機器を活用しており、想像以上に現代的だと感じました。社員同士の会話も多く、温かくアットホームな雰囲気職場です。

Q. どのようなディレクターを目指していますか?

A. お客様のご希望をまずは受け止め、丁寧にお話を伺うことを大切にしています。そのうえで、実現が難しい場合であってもどのような方法であればご希望に近付けられるのかを一緒に考え安心して相談していただけるディレクターを目指しています。

Q. 得意なことや趣味を教えてください。

A. 若さと体力が私の強みです。趣味は海釣り、音楽フェス、バイクツーリングで、釣りでは大きなシーバスやブリを釣ることが目標です。今年は金沢マラソンにも挑戦するので、完走を目指して少しずつ練習を始めています。



～探検チョロチョロぼくの町・菅生石部神社(おごういそべじんしゃ)～

加賀市大聖寺に鎮座する「菅生石部神社」。古くから地域の人々に親しまれ、数代「天神」の名でも知られています。その歴史は大変古く、用明天皇の時代に、宮中でお祀りされていた神様をこの地へお迎えしたことが始まりと伝えられています。中世には周辺が京都・北野天満宮の領地となり、天神信仰が盛んになったことから、菅原道真公もお祀りされるようになりました。毎年2月に行われる「御願神事」は、若者たちが青竹を勢いよく打ち割ることから、「竹割まつり」とも呼ばれる勇壮なお祭りです。また、7月末には創祀以来1400年余り続いている「天神講」が行われ、願いを込めて災厄を祓います。境内には白山社、八幡土、春日社、稻荷社など、さまざまなお社も祀られています。長い歴史と地域の信仰が今も息づく菅生石部神社、身近なまちの魅力を探いに、ゆっくり訪れてみてはいかがでしょうか。



～イベント報告～

5月4日に人形供養祭を開催いたしました。事前の受付を含め122組のお客様がお越しください、合計1650体のお人形が集まりました。お人形への感謝や想いをつつぎていただいたメッセージカードとともに丁寧に供養させていただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました!



《編集後記》

朝夕の風に秋の気配を感じる季節となりました。今号では、新しく仲間に加わったスタッフの紹介をはじめ、菅生石部神社や人形供養祭の様子をお届けしました。地域の皆様とのお縁に支えられ、こうして紙面をお届けできることをうれしく思います。季節の変わり目ですので、どうぞお身体を大切にお過ごしください。(楠)



タカダの
Instagram
公式アカウント
です。



タカダの
Facebook
公式アカウント
です。



タカダの
LINE公式
アカウントです。

家族葬タカダ

検索